

## イギリス女性参政権100周年



イギリス・日本の女性参政権運動と今日の課題

日時 2018年2/3(土) 10:30~18:15 会場 婦選会館

**趣旨** 2018年2月6日はイギリスの女性参政権100周年にあたります。日本も2015年に30年遅れで70周年を迎えました。今回のシンポジウムでは、2017年に公開されて話題となったイギリス映画「未来を花束にして」と、市川房枝の音声入りDVDを見ながら、両国の参政権運動の歴史について振り返りたいと思います。はたして今日、女性たちは獲得した権利を十分に活かしているでしょうか。未来に向けて課題をさぐります。

プログラム	総合司会	金子幸子(財団理事)
10:30~	主催者あいさつ 趣旨・日程説明	山口みつ子(財団理事長)
10:40~12:30	DVD「未来を花束にして」(106分/2015年/イギリス) 上映	
12:30~13:20	休憩	
13:20~16:30	シンポジウム「イギリス・日本の女性参政権運動と今日の課題」 コーディネーター 進藤久美子(財団理事)	
13:20~13:25	趣旨説明	
13:25~13:55	イギリス	富田裕子氏(慶応義塾大学 GIC女性学講師)
13:55~14:05	DVD「婦選の話」(7分/2014年/日本) 上映	
14:05~14:35	日本	国武雅子氏(長崎純心大学非常勤講師)
14:35~14:50	コーヒープレイク	
14:50~16:30	ディスカッション	
16:30~	閉会あいさつ	
16:45~18:15	交流会	

※本プログラムは当財団の女性参政70周年記念事業(2015~16年度)のポストイベントとして行います。

- 定員 約45名(要予約・受付先着順)
- 参加費 1,080円(税込・交流会込)
- 申込先 参加希望者は1/25(木)までに電話、FAX、メールでお申し込み下さい。  
※講師の都合等により変更がある場合はご了承下さい。
- アクセス JR線/代々木駅北口、新宿駅南口下車徒歩約7分  
小田急線/南新宿駅下車徒歩約3分、地下鉄都営新宿線・大江戸線/新宿駅A1下車徒歩約3分

## お申込み、お問い合わせは下記まで

主催:(公財)市川房枝記念会女性と政治センター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館 TEL: 03-3370-0238 FAX: 03-5388-4633  
E-mail: fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL: http://www.ichikawa-fusae.or.jp

## パネリスト

### 富田 裕子 (とみだひろこ) 氏

**ねらい** 30歳以上のイギリス女性が参政権を獲得してから、2018年で100年を迎える。これを祝して今回の報告では、イギリスの女性参政権運動の発生から参政権獲得に至るまでの歩みを、参考資料と画像を用いてたどってみたい。過激派、穏健派による活動内容の違いやその成果を比較考察しながら、両派の要となった婦人団体の特徴や指導者の生い立ちにも触れるつもりだ。

**プロフィール** 英国国立レスター大学にてビクトリア時代のフェミニスト研究で修士号。その後英国国立シェフィールド大学にて日英の女性運動家の比較研究で博士号授与。シェフィールド大学東アジア学部専任講師、エジンバラ大学アジア学部上級研究員を経て、現在は慶應義塾大学のスーパーグローバル・プログラムで女性学を英語で教授している。英国の学術誌*Women's History Review*編集委員、日本ジェンダー史学会国際担当理事、2011年日本女子大学より第6回平塚らいてう賞を受賞。

### 国武 雅子 (くにたけまさこ) 氏

**ねらい** 女性が政治に参加する権利を得るために、日本でも長い闘いがあった。2018年は自由民権運動の中で楠瀬喜多子が男女平等の選挙権を求めてから140年にあたる。その後社会主義者や様々な女性団体が続き、1924年婦選獲得同盟が結成される。誰が何のために闘ったのか、歴史をふり返り、今私たちの手にある「参政権」の意義を見つめたい。

**プロフィール** 長崎純心大学非常勤講師。長崎女性史研究会代表。博士(学術・文学)。論文「戦後女性運動の起点―市川房枝を中心に―」(長崎純心大学大学院『人間文化研究』創刊号、2003年)など。市川房枝研究会メンバーとして『市川房枝の言説と行動Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ』(市川房枝記念会女性と政治センター、2008、2013、2016)の編集に参加。

## DVD 紹介



### 「未来を花束にして」(106分/2015年/イギリス)

主人公は、夫と息子の3人で慎ましく暮らす、洗濯工場勤めのモード。7歳から過酷な労働に従事している彼女にある時、生まれて初めて疑問が生じる。“別の生き方があるのではないかと”。愛する我が子には自分とは異なる人生を歩んでほしい。その一心で声を上げ、やがて凛々しく変貌してゆくモードを若手演技派の筆頭キャリア・マリガンが演じている。実在の人物パンクハーストにはメリル・ストリープが扮し、圧倒的な存在感を放つ。[PRリーフレットより作成]

監督：サラ・ガヴロン 脚本：アビ・モーガン

出演：キャリア・マリガン、ヘレナ・ボナム・カーター、ベン・ウィショー、メリル・ストリープ他



### 「婦選の話」(7分/2014年/日本)

1931年(昭和6)年、市川房枝がレコード「婦選の話」に吹き込んだ肉声に当センター所蔵の関係資料を重ねた。制作時のチラシには「市川女史の説く『婦選の話』は必ずや獅子吼と想はれませうが、事實は、これまた何と平和で朗らかな、これでは如何なる階級、年齢の男女と雖も、他意なくその論旨の前に、微笑と共に肯くであります。(中略)これは全くよき通俗講演家庭講演であります。殊に近頃勃興し來つた婦人の政治教育には、寔に絶好の教材として偏く推稱される事と信じます」とある。婦人参政権運動が高まる中、その必要性をレコードで発信した女性たちの熱意が伝わる。

制作：市川房枝記念会女性と政治センター

-----参加申込書(お寄せいただいた個人情報は財団からのご案内に利用させていただきます。)-

ふりがな お名前	
連絡先	〒  電話 FAX メール
出席予定 (○で囲んでください)	映画 ・ シンポジウム ・ 交流会
参加のきっかけ	議会事務局より・当センターからの案内・『女性展望』誌上・当センターHP・その他